

市長 この地域は下連雀五丁目にある狐久保交番が管轄している。交番が近くにあることから、三鷹警察署に交番でのパトロール回数増加を要望することや本市の安全安心パトロール車による見回り等により、防犯力の確保を図りたい。

議員 千葉県警では移動交番車への取り組みとして平成25年2月から50台全車にAEDを配置するなど、単なる駐在所等の代わりでなく、しっかり地域を見守る存在との考えで取り組んでいる。同様の取り組みを都に働きかけられないか。

市長 千葉県と都では実情が異なるので、市内に1台ある移動交番車の有効活用も含めて、三鷹警察署と今後いかに安全確保を図るか協議を重ねたい。

議員 本市の人口が更に増加する場合、火災のリスクや緊急搬送の要請が増加することが予想される。現在18万人を超えた本市では4か所の消防署・出張所に対応しているが、平成12年消防庁告示第1号「消防力の整備指針」では、市街地の区域内の人口18万人に対する消防署等数は5と規定されており、1か所不足している。現在の消防力で災害から市民を守れるのか懸念される。所見を伺う。

市長 用地確保やコストの観点から出張所を増やすのは難しいが、消防力確保は必要である。近隣の消防署等と連携を強化することにより確保を図りたい。

〈その他の質問〉 元気創造プラザ内の消防団訓練の課題について

**生徒の視点に立ち適正な
中学校部活動の休業日を**



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 中学校の部活動について、休みがなくて疲れ切っていて勉強の時間がとれないなど、過密なスケジュールと学校生活への影響に関する相談を受けた。部活動の目的と意義について伺う。

教育長 スポーツや文化等に親しませ、健全育成、個性・能力の伸長、人間関係の育成等多岐にわたり意味のある活動と捉えている。

議員 中学校の部活動の練習時間や大会等について、実態を把握しているか。

教育部長 部活動実施状況調査や各校の部活動の指導計画等で把握している。

議員 不規則な昼食時間や休息日がほとんどないスケジュールの状態、校外での試合参加時の安全確保などについて、所見を伺う。

教育部長 活動時間や休息など一層の安全確保や適切な部活動運営ができるよう学校を指導していく。

議員 文部科学省の「学校現場における業務の適正化に向けて（通知）」で部活動における休業日の設定の徹底をはじめとした運営の適正化が示されている。休業日に対する考えを聞く。

教育長 休業日の確保は、資質・能力をバランスよく

育成する視点で重要だ。

議員 通知では、校長のリーダーシップ及び教育委員会の支援のもとでしっかりと休業日を設ける等の取り組みを徹底することが不可欠とされている。本市の取り組みについて伺う。

教育長 校長のリーダーシップのもと指導方針等を作成し、1学期当初の部活動保護者会等で、活動方針や内容について説明して理解を得るよう努めている。今後、意見を受け、適宜活動の見直しも行っていきたい。

〈その他の質問〉 外環道路について/コミュニティバスについて

**どんぐり山は廃止ではなく
存続に向けた取り組みを**



日本共産党 森 徹 議員

議員 今年度の予算審査特別委員会で特別養護老人ホームどんぐり山の廃止計画を質問した。市長答弁は「三鷹市で築いた20年余りの高福祉の実践を高く評価する」と、また、廃止計画に至る副市長答弁は「社会福祉法人楽山会から市が求める健全な運営についてのめども非常に難しい。できれば撤退したい」という申し入れがあった」という内容であった。その後4月20日付で楽山会から市議会議員あてに配られた資料には、当法人の辞退理由は事実と異なることあり、どんぐり山の指定管理者の継続について2通の市長あて文書が添えられていた。委員会での副市長答弁は、市の都合のいいところだけを引用しており市議会と市民の知る権利、市議会の役割を阻害したことになるのではないかと懸念している。

議員 部活動に参加している生徒や保護者にアンケートを実施し、意見や要望を活動に反映させるべきだ。

教育長 指導計画を作成し、生徒や保護者の理解を得るよう努めている。今後、意見を受け、適宜活動の見直しも行っていきたい。

気持ちは全くなく、自分たち都合のいいような情報を出すようなことは全く考えていない。ただ、様々な経過の中で、十分に全てを伝えきれなかったことについては、楽山会が二元代表の一翼である市議会に文書を提出したことが、ひとつの表れだと考えている。

議員 楽山会から市長にあてた2通の文書からは継続への並々な決意が読み取れる。限られた答弁時間では触れられなかったというのは到底理解できない。

第一副市長 都合の悪いことを隠したつもりは全くなく、その時点では報告する必要がないと判断した。今後も適切に対応していく。

議員 楽山会がどんぐり山の廃止を求めている。三鷹市が廃止の方向であることを知らされると、指定管理者の継続について市との協議を求めている。この20年余りの努力に感謝しているなら、廃止ではなく存続に向け取り組むべきだ。

市長 本年1月26日、市の廃止する旨を伝えている。

**利用者に寄り添った
元気創造プラザの運営を**



日本共産党 大城 美幸 議員

議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの利用環境について利便性の観点から市民から様々な声が寄せられている。本年4月のオープン以降、市民からの苦情や意見の件数を伺う。

スポーツと文化部長 5月中旬までで約20件ある。

議員 旧福祉会館では職員が善意で出来た篠笛の練習が、新施設では断られたと聞いている。利用者の声を真摯に受け止めるべきだ。

スポーツと文化部長 練習は、団体利用でなく個人利用のため、利用規程に該当しておらず断った。

議員 1階ではエレベーターまでの点字ブロックが途切れていたという声を聞いた。改善状況を伺う。

スポーツと文化部長 指摘の点は把握している。他にも該当がないか確認中だ。

議員 浴室について旧福祉会館と比べて狭くなった、利用時間が短すぎるなどの苦情が寄せられている。改善は図れないのか。

スポーツと文化部長 広さ点ではない。

〈その他の質問〉 介護保険制度について

ほぼ同じだ。利用時間の制限でなく混雑時に利用者に声をかけることがある。

議員 プールの利用者から滑って危ないという指摘や、転んで骨折し、救急車で運ばれた人もいると聞いている。改善状況を伺う。

スポーツと文化部長 プールサイドにマットを敷くとともに、床面の手直し工事を4月に行い、6月にも再度工事を予定している。

議員 三鷹中央防災公園は災害時の一時避難場所であるにもかかわらず、階段や段差等も多いため、多くの市民が参集した場合、危険ではないか。所見を伺う。

スポーツと文化部長 東広場、西広場から中央広場の動線部分は、緩やかなスロープで階段はない。南側と北側の道路部分の段差は、閉鎖も可能な仕様である。

議員 施設利用料について苦情はないのか。

スポーツと文化部長 現時点ではない。

**受動喫煙規制の強化と
子育て支援を優先して進めよ**



希望と維新の会 増田 仁 議員

議員 オリンピック開催国では厳しい受動喫煙規制があり、本市でも早期対応が必要と考える。所見を伺う。

市長 これまでの取り組み経緯や近隣市区町村の対応状況を踏まえ検討したい。

議員 議場棟では職員を含め非喫煙者の受動喫煙のリスクがある。施設設置者としての市長の所見を伺う。

市長 二元代表制の一翼である市議会でも自律的に判断すべきものと考えている。

議員 健康寿命を延ばし医療費を減らすには、喫煙者の卒煙に向けた具体的な方策が必要だ。所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長 医師会をはじめとした関係機関とも連携して、具体的な対応の検討を進めたい。

議員 太宰治文学館(仮称)と吉村昭書斎(仮称)整備が

いて民間議員が平成27年度の残高が過去10年間で約1.6倍に増えていると指摘をし、これを受け、総務省は、全自治体を対象に基金積立目的などの実態調査を行うとの報道があった。問題は、全自治体を対象とし、普通地方交付税の交付団体と不交付団体を一緒にしている点だ。どのような基金を設置するかまで国の指示がある状態は、もはや地方分権とは言えないと考える。基金のあり方と地方分権について所見を伺う。

市長 総務省はまだ調査内容や基金の設置への関与など詳細を明らかにしていない。調査が、仮に国に比べて地方が富裕という認識に基づくなら、その認識は誤りと考える。不交付団体の立場では、国庫補助金の補助率の割り落とし等の不利益があるにもかかわらず、基金残高のみを捉えた財政制度の見直しで地方財政の自主性が損なわれまいように、推移を見守りたい。

議員 間違った認識に対しては、調査に回答する際、附帯意見を付すなど、意見を言うべきでないか。

市長 全国市長会等と一致団結し、働きかけていく。

井の頭恩賜公園に検討されている。保育園等のニーズがある中、文学館がこの地域でなぜ優先されるのか。

企画部長 市としては総合的に判断し政策を選択している。子育て支援と文学館整備という二極対立的なものではないと考えている。

議員 保育園でのおむつ処理は、原則保護者の持ち帰りとなっているが、改善が必要と考える。所見を伺う。

子ども政策部調整担当部長 保護者の意向や園での保育管理状況等を助産し、衛生管理面、財政面等を総合的に判断・検討していきたい。

三鷹市議会では、インターネットによる本会議の生中継と録画中継の配信をしています。一般質問の模様は市議会ホームページでご覧になれます。